

2024年7月9日

各位

会社名 株式会社 坪田ラボ
代表者名 代表取締役社長 坪田 一男
(コード番号：4890 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員管理本部長 清水 貴也
(TEL 03-6384-2866)

「パーキンソン病」を対象とした TLG-005 の
特定臨床研究結果の速報について

この度、当社が実施した「パーキンソン病」に対する TLG-005（バイオレットライトメガネ）の安全性と有効性を評価した特定臨床研究（以下、「本研究」という。）結果の速報をお知らせいたします。

- ◇ 研究名：「バイオレット光による非侵襲的パーキンソン病治療法の開発」*1
- ◇ 組入れ症例数：20名
- ◇ 試験デザイン：単一群／非盲検／非対照／単群比較／治療
- ◇ 研究概要

本研究は、順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科教授 服部信孝等の協力のもと、2020年9月に開始された。パーキンソン病と診断された方（Hoehn&Yahr 重症度4以下）20例が登録され、全例にバイオレット光を照射した。

- ◇ 主要評価項目「眼科検査による安全性の評価」：重篤な有害事象は発生しませんでした。また、軽度の有害事象は発生したが、いずれも本機器装用による直接的な因果関係は無いと判断されました。
- ◇ 副次評価項目「パーキンソン病症状の評価」：パレイドリアテスト*2において、照射前と12週間後で比較した結果、スコアの減少がみられました。

本研究において機器の安全性が確認され、「パーキンソン病」の一部の症状に対して効果を示唆する結果が得られました。この結果を受けまして、当社は、引き続き研究及び事業開発に取り組んでいきます。なお、当社2025年3月期の業績への影響はありません。

*1 臨床研究実施計画番号：jRCTs032200104

*2 パレイドリアテストは、風景画像の中に人の顔や動物などの錯視が見えるかどうかを検査するテストで、幻視の代用尺度とする検査法です。パーキンソン病患者において幻視の出現頻度が増加することが知られており、病状の把握や管理に役立つと期待されています。

以上